

2015/11/17

柏の景気情報（平成27年10月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 経営支援課
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18
TEL : 04-7162-3305
FAX : 04-7162-3323
URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>
E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報（平成27年10月分）

○ 調査期間 : 平成27年10月21日 ~ 11月6日

○ 調査対象 : 柏市内156事業所及び組合にヒアリング

＜産業別回収状況＞

| 調査産業 | 調査対象数 | 回答数 | 回収率 |
|------|-------|-----|-------|
| 全産業 | 156 | 80 | 51.3% |
| 建設 | 44 | 22 | 50.0% |
| 製造 | 33 | 18 | 54.5% |
| 卸・小売 | 43 | 25 | 58.1% |
| サービス | 36 | 15 | 41.7% |

○ 調査方法 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。
と調査表

質問A

| 質問事項 | 回答欄 | | | | | |
|-------------------|--------------------|---------|---------|-----------------------------|---------|---------|
| | 前年同月と比較した 今月の水準 | | | 今月の水準と比較した向 こう3ヶ月の先行き見通し | | |
| a.売上高 (出荷高) | 1 増加 | 2 不変 | 3 減少 | 1 増加 | 2 不変 | 3 減少 |
| b.採算 (経常利益ベース) | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 |
| c.仕入単価 | 1 下落 | 2 不変 | 3 上昇 | 1 下落 | 2 不変 | 3 上昇 |
| d.従業員 | 1 不足 | 2 適正 | 3 過剰 | 1 不足 | 2 適正 | 3 過剰 |
| e.業況 | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 |
| f.資金繰り | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 |

質問B 業界内のトピック(記述式)

$$DI値 = 1 \text{ 増加他の回答割合} - 3 \text{ 減少他の回答割合}$$

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※ DI値と景気の概況

| | | | | |
|---------|--------------|-------------|--------------|----------|
| DI ≥ 50 | 50 > DI ≥ 25 | 25 > DI ≥ 0 | 0 > DI ≥ ▲25 | ▲25 > DI |
| 特に好調 | 好調 | まあまあ | 不振 | 極めて不振 |

【平成27年10月の調査結果のポイント】

◀業況DIは一進一退。好転材料も乏しく先行きも引き続き厳しい見方▶

○10月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲26.2(前月水準▲20.2)となり、マイナス幅が6.0ポイント拡大した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、建設業▲13.6(同▲21.7)である。変わらない業種は、サービス業▲6.6(同▲6.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲33.3(同▲5.5)、卸小売業▲44.0(同▲35.7)であり、特に製造業では、マイナス幅が27.8ポイントと大幅に拡大した。

【建設業】からは、「消費税による駆け込み注文が無くなる。消費税が10%になる前に再び受注が多くなる見込み」(管工事業)、「一般家庭の畳工事(新畳仕上げ、畳表替え、畳裏返し)全てが増えています。畳縁一辺を交換する細かい工事もありますが、丁寧に対応していきたいです」(内装工事業)、「久しぶりに売上の増加となったものの、工期のずれにより計上出来なかった売上が10月に計上出来たことによる売上増加で、平均すると前年より売上は下がっている。他業種での工期が遅れた分、仕上業者である当社へのしわ寄せは大きく、現場が重なり、作業員の手配が難しい。現場の作業時間の節約、日曜日の作業禁止等により、ずれた工期、重なった日程をずらせず、忙しい毎日が続いている」(その他の職別工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「部品加工会社において助成金を利用した設備投資が増えている。仕事の繁忙は各社においてバラつきがあり、不安定さが伺える」(その他の機械・同部品製造業)、「得意先が中国関連がメインで、建機の状況が非常に悪く、全体の売上に影響している」(その他の金属製品製造業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「前年は2ヶ月連続で週末に台風の影響を受けた。本年は天候に恵まれ動員も好調に推移。婦人衣料は序盤には気温低下もあって秋物商材の動きは好調。後半に入り、コートも活発になる。宝飾・時計の高級雑貨は、時計が輸入品を中心に好調に推移するものの、宝飾・美術品は前年を大きく下回る。食品は天候と件による動員増加が奏功、おせち受注も順調に推移」(百貨店)、「秋のセール期間中は大幅な伸びを示したが、その前後は大幅に売上減少。きっかけがあれば購入するが、必要に迫られなければ買わない傾向が益々顕著である」(婦人・子供服小売業)、「相変わらず人手不足である。もっと魅力的な会社になることが課題と考える。案の定TPPはアメリカの思惑通りになる。大手輸出企業にとっては良いが、中小の農林水産業者にとっては死活問題である。小売の競争は益々激化している。他店との違いをいかに出していくかがこれからの課題」(各種食料品小売業)、「プレミアム商品券もひと段落して、例年と変わらなくなりました」(菓子・パン小売業)、「下旬の気温低下で実用品のみが動き出す。ふとん、肌着などが好調となる」(その他の各種商品小売業)、「客単価が上がらず売上減少。商品の先物仕入と賞与の時期を迎え資金繰りが心配です」(その他の飲食料品小売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】「お客様からの問合せは不変ですが、契約件数、売上は増えています。良い物件は早期売却が出来ていますが、少し物件に難があるような物は長期在庫になっています」(不動産賃貸業)、「休日の歩行者天国が駅前の活気に結びつかない時代に来ていると思います」(不動産賃貸業)、「一部の借入金の償還期間が終了したのと、保険等の諸経費の見直しを行ったため、資金繰りに多少の余裕が出ました。また、現在の未利用地の事業化計画が進捗中です」(不動産賃貸・管理業)などのコメントが寄せられた。

◎人手不足

各業種より、「従業員、パートの不足で生産高が上がらず、全てにマイナスが広がった」(食堂・レストラン)、「厳しさは変わらず。人手不足も深刻で、即戦力が足りない。スピード・生産性を考えられるスタッフが少ない」(ソフトウェア業)などのコメントが寄せられた。

◎仕入単価上昇

各業種より、「材料単価の上昇が続いている。仕事量はあるが、好況感はない」(電気工事業)、「10月は軽油価額が下がり、一息ついたところで、11月からは徐々に仕入価額が上昇していきそう」(一般貨物自動車運送業)などのコメントが寄せられた。

◎価格転嫁

各業種より、「商品の値上げを実施したが影響が少しずつ出て来る見込み」(食品・飲料品等製造業)、「引き続き原材料の値上げが多く、販売価格の改定が止むを得ない状況」(菓子・パン小売業)などのコメントが寄せられた。

| | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸・小売 | サービス |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 5月 | ▲24.3 | ▲26.0 | ▲11.1 | ▲50.0 | ±0.0 |
| 6月 | ▲24.7 | ▲26.0 | ▲11.1 | ▲39.2 | ▲12.5 |
| 7月 | ▲19.7 | ▲25.0 | ±0.0 | ▲42.8 | △14.2 |
| 8月 | ▲23.1 | ▲35.0 | ▲11.1 | ▲32.1 | ▲6.2 |
| 9月 | ▲20.2 | ▲21.7 | ▲5.5 | ▲35.7 | ▲6.6 |
| 10月 | ▲26.2 | ▲13.6 | ▲33.3 | ▲44.0 | ▲6.6 |
| 見通し | ▲20.0 | ▲9.0 | ▲33.3 | ▲36.0 | △6.6 |

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【平成27年10月の業況についての状況】

○ 10月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲26.2(前月水準▲20.2)となり、マイナス幅が6.0ポイント拡大した。

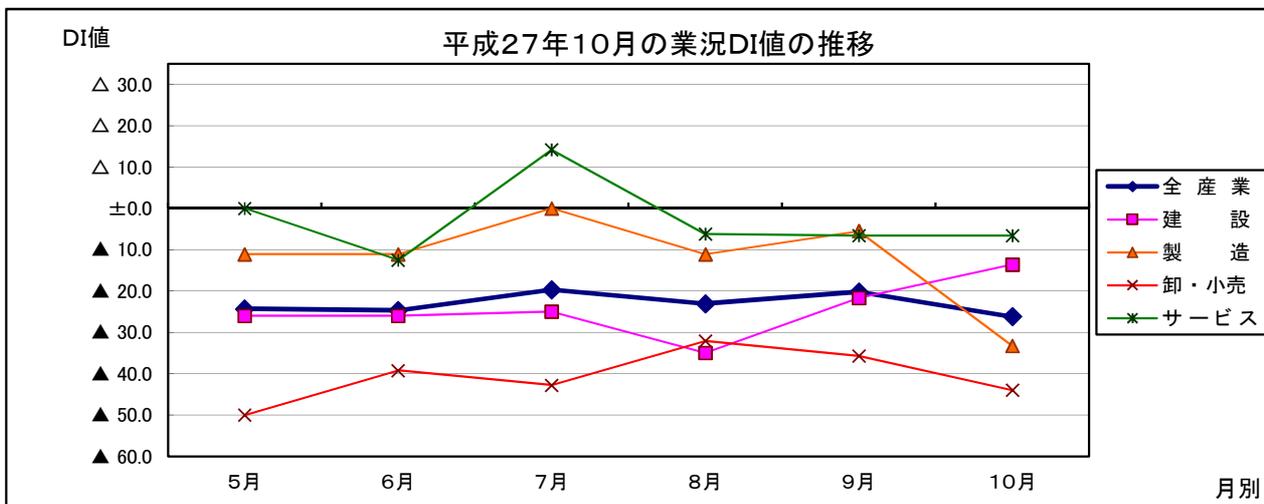
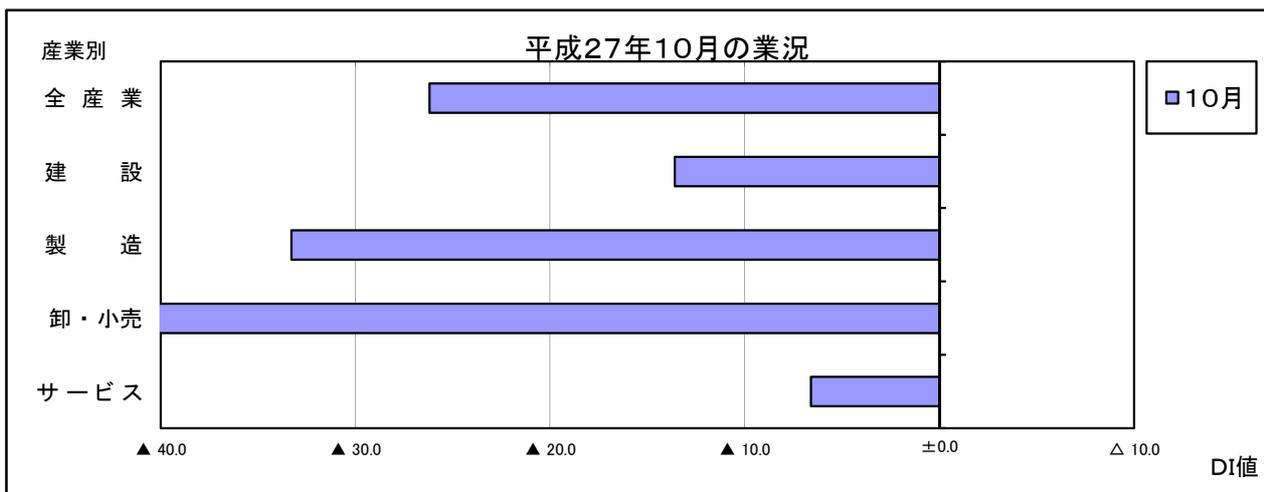
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、建設業▲13.6(同▲21.7)である。変わらない業種は、サービス業▲6.6(同▲6.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲33.3(同▲5.5)、卸小売業▲44.0(同▲35.7)であり、特に製造業では、マイナス幅が27.8ポイントと大幅に拡大した。

○ 向こう3ヶ月(11月から1月)の先行き見通しについては、全産業では、▲20.0(前月水準▲13.0)となり、マイナス幅が7.0ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、サービス業△6.6(同▲13.3)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲33.3(同▲5.5)、卸小売業▲36.0(同▲25.0)、建設業▲9.0(同▲4.3)であり、特に製造業では、マイナス幅が27.8ポイントと大幅に拡大する見通しである。

平成27年10月業況DI値(前年同月比)の推移

| | 平成27年 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 先行き見通し 11月~1月(10月~12月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|
| 全産業 | ▲24.3 | ▲24.7 | ▲19.7 | ▲23.1 | ▲20.2 | ▲26.2 | ▲20.0(▲13.0) |
| 建設 | ▲26.0 | ▲26.0 | ▲25.0 | ▲35.0 | ▲21.7 | ▲13.6 | ▲9.0(▲4.3) |
| 製造 | ▲11.1 | ▲11.1 | ±0.0 | ▲11.1 | ▲5.5 | ▲33.3 | ▲33.3(▲5.5) |
| 卸・小売 | ▲50.0 | ▲39.2 | ▲42.8 | ▲32.1 | ▲35.7 | ▲44.0 | ▲36.0(▲25.0) |
| サービス | ±0.0 | ▲12.5 | △14.2 | ▲6.2 | ▲6.6 | ▲6.6 | △6.6(▲13.3) |



【平成27年10月の売上についての状況】

○ 10月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲23.7(同▲22.6)であり、マイナス幅が1.1ポイント拡大した。

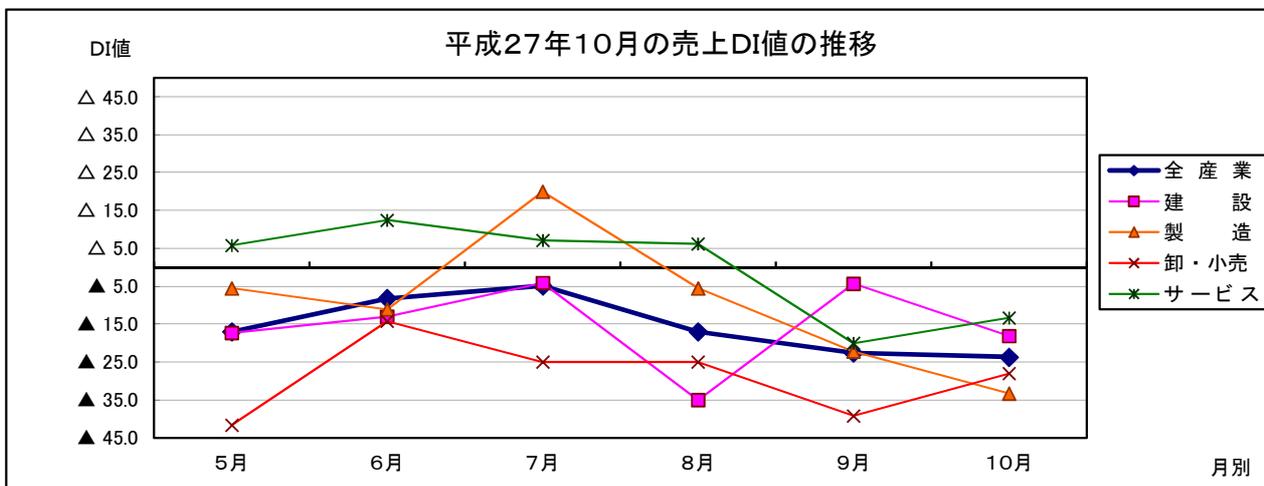
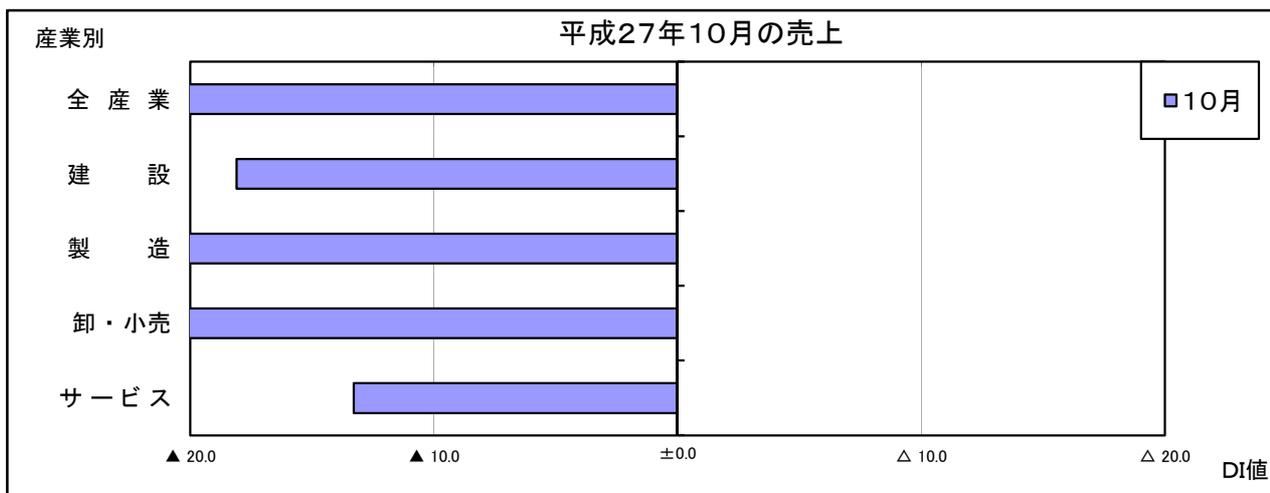
業種別では、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲13.3(同▲20.0)、卸小売業▲28.0(同▲39.2)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲18.1(同▲4.3)、製造業▲33.3(同▲22.2)である。

○ 向こう3ヶ月(11月から1月)の先行き見通しについては、全産業では、▲12.5(前月水準▲4.7)となり、マイナス幅が7.8ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲20.0(同▲21.4)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、建設業△4.5(同△21.7)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、サービス業▲6.6(同±0.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、製造業▲27.7(同▲16.6)である。

平成27年10月の売上DI値(前年同月比)の推移

| | 平成27年 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 先行き見通し 11月~1月(10月~12月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|
| 全産業 | ▲17.0 | ▲8.2 | ▲4.9 | ▲17.0 | ▲22.6 | ▲23.7 | ▲12.5(▲4.7) |
| 建設 | ▲17.3 | ▲13.0 | ▲4.1 | ▲35.0 | ▲4.3 | ▲18.1 | △4.5(△21.7) |
| 製造 | ▲5.5 | ▲11.1 | △20.0 | ▲5.5 | ▲22.2 | ▲33.3 | ▲27.7(▲16.6) |
| 卸・小売 | ▲41.6 | ▲14.2 | ▲25.0 | ▲25.0 | ▲39.2 | ▲28.0 | ▲20.0(▲21.4) |
| サービス | △5.8 | △12.5 | △7.1 | △6.2 | ▲20.0 | ▲13.3 | ▲6.6(±0.0) |



【平成27年10月の採算についての状況】

○ 10月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲36.2(前月水準▲29.7)となり、マイナス幅が6.5ポイント拡大した。

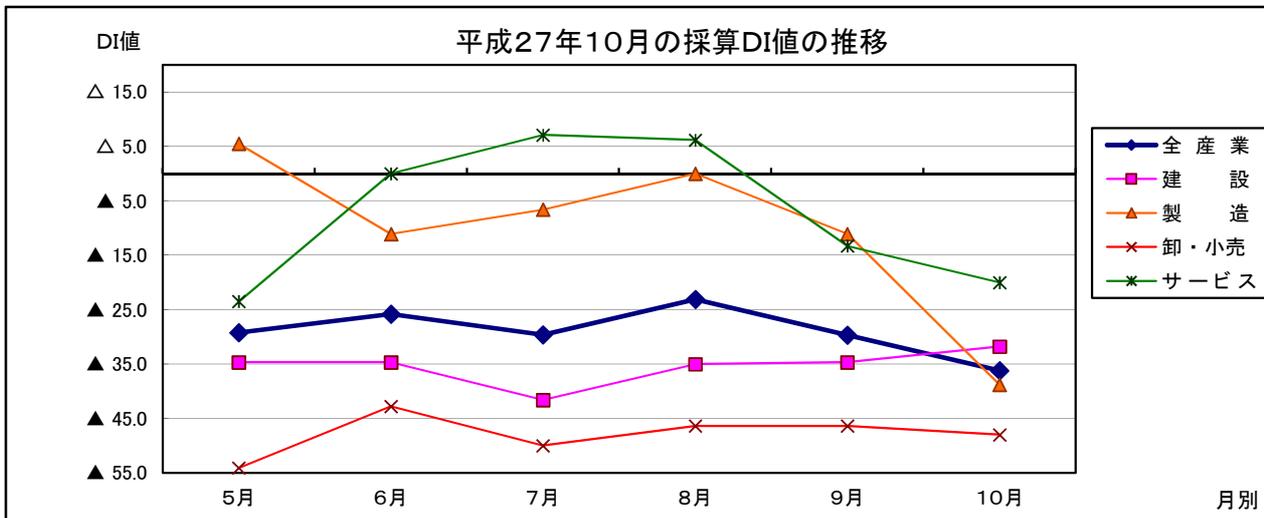
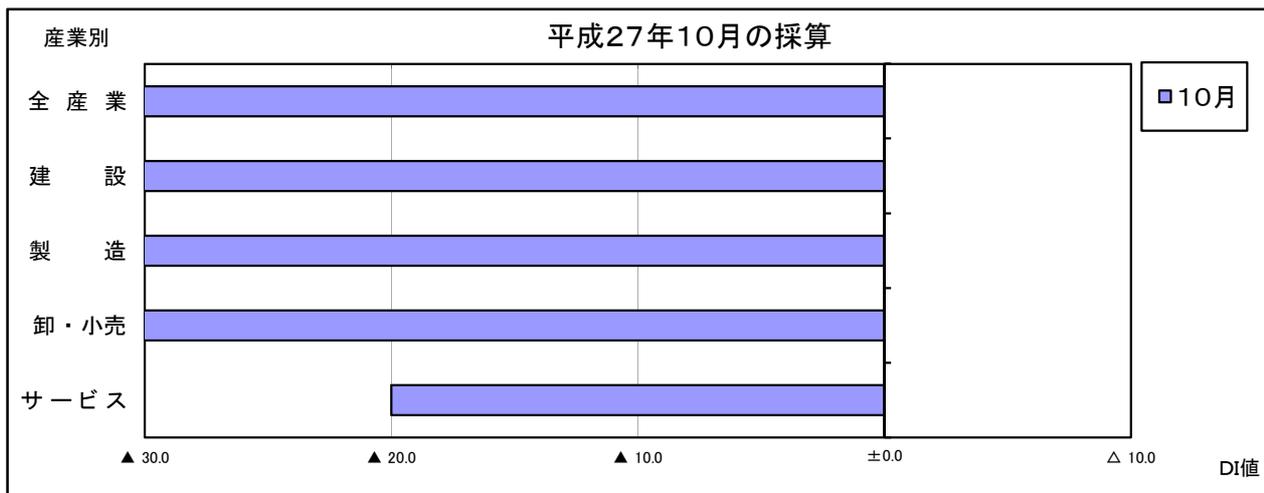
業種別では、マイナス幅が縮小した業種は、建設業▲31.8(同▲34.7)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、製造業▲38.8(▲11.1)、サービス業▲20.0(同▲13.3)、卸小売業▲48.0(同▲46.4)であり、特に製造業では、マイナス幅が27.7ポイントと大幅に拡大した。

○ 向こう3ヶ月(11月から1月)の先行き見通しについては、全産業では、▲26.2(前月水準▲17.8)であり、マイナス幅が8.4ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、サービス業△6.6(同▲6.6)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、建設業▲9.0(同▲13.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲44.4(同▲16.6)、卸小売業▲48.0(同▲28.5)となり、特に製造業では、マイナス幅が27.8ポイントと大幅に拡大する見通しである。

平成27年10月の採算DI値(前年同月比)の推移

| | 平成27年 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 先行き見通し 11月~1月(10月~12月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|
| 全産業 | ▲29.2 | ▲25.8 | ▲29.6 | ▲23.1 | ▲29.7 | ▲36.2 | ▲26.2(▲17.8) |
| 建設 | ▲34.7 | ▲34.7 | ▲41.6 | ▲35.0 | ▲34.7 | ▲31.8 | ▲9.0(▲13.0) |
| 製造 | △5.5 | ▲11.1 | ▲6.6 | ±0.0 | ▲11.1 | ▲38.8 | ▲44.4(▲16.6) |
| 卸・小売 | ▲54.1 | ▲42.8 | ▲50.0 | ▲46.4 | ▲46.4 | ▲48.0 | ▲48.0(▲28.5) |
| サービス | ▲23.5 | ±0.0 | △7.1 | △6.2 | ▲13.3 | ▲20.0 | △6.6(▲6.6) |



【平成27年10月の仕入単価についての状況】

○ 10月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲27.5(前月水準▲36.9)となり、マイナス幅が9.4ポイント縮小した。

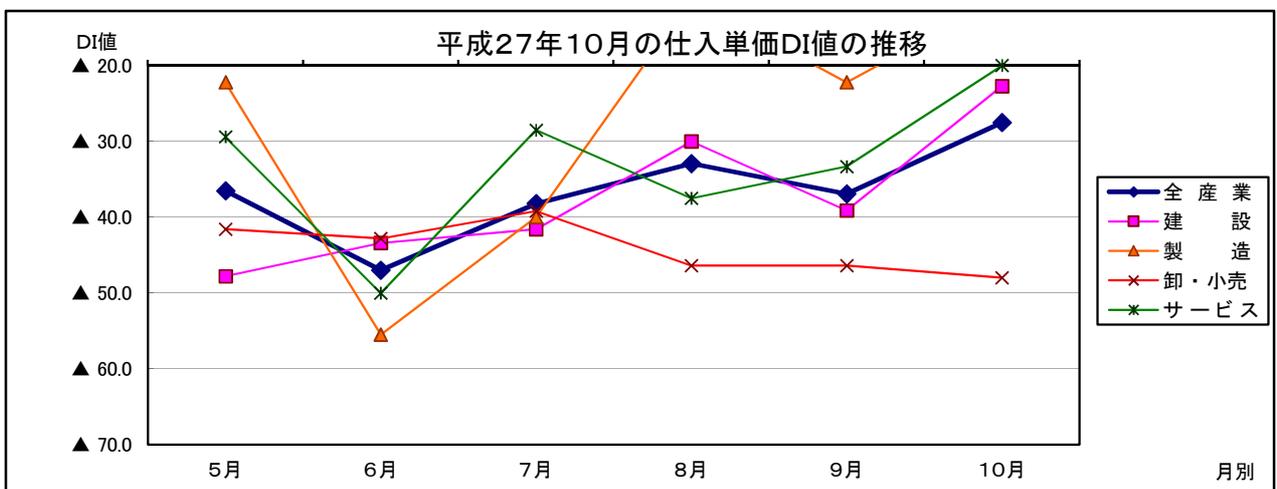
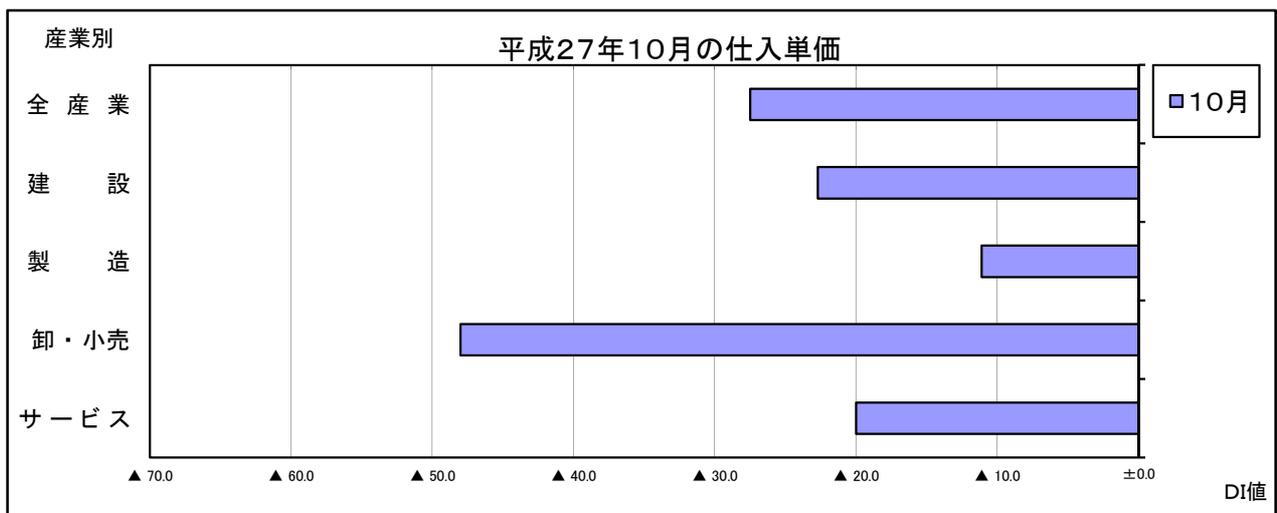
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲22.7(同▲39.1)、サービス業▲20.0(同▲33.3)、製造業▲11.1(同▲22.2)である。マイナス幅が拡大した業種は、卸小売業▲48.0(同▲46.4)である。

○ 向こう3ヶ月(11月から1月)の先行き見通しについては、全産業では、▲20.0(前月水準▲28.5)となり、マイナス幅が8.5ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、全ての業種でマイナス幅が縮小する見通しであり、幅の大きい順に、製造業▲5.5(同▲16.6)、卸小売業▲32.0(同▲42.8)、サービス業▲20.0(同▲26.6)、建設業▲18.1(同▲21.7)である。

平成27年10月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

| | 平成27年 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 先行き見通し 11月~1月(10月~12月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|
| 全産業 | ▲36.5 | ▲47.0 | ▲38.2 | ▲32.9 | ▲36.9 | ▲27.5 | ▲20.0(▲28.5) |
| 建設 | ▲47.8 | ▲43.4 | ▲41.6 | ▲30.0 | ▲39.1 | ▲22.7 | ▲18.1(▲21.7) |
| 製造 | ▲22.2 | ▲55.5 | ▲40.0 | ▲11.1 | ▲22.2 | ▲11.1 | ▲5.5(▲16.6) |
| 卸・小売 | ▲41.6 | ▲42.8 | ▲39.2 | ▲46.4 | ▲46.4 | ▲48.0 | ▲32.0(▲42.8) |
| サービス | ▲29.4 | ▲50.0 | ▲28.5 | ▲37.5 | ▲33.3 | ▲20.0 | ▲20.0(▲26.6) |



【平成27年10月の従業員についての状況】

○ 10月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△7.5(前月水準△8.3)となり、プラス幅が0.8ポイント縮小した。

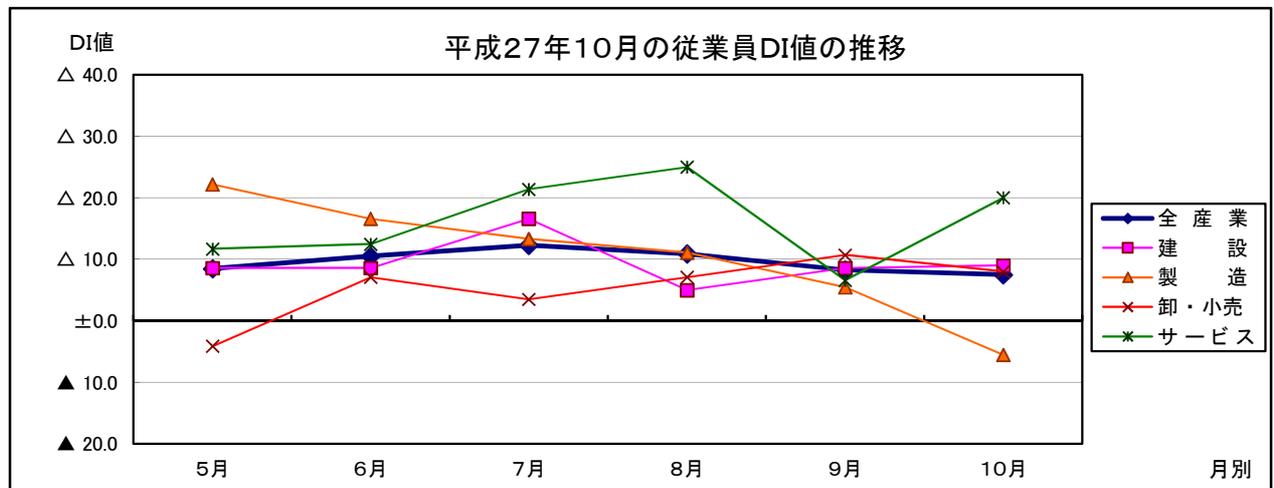
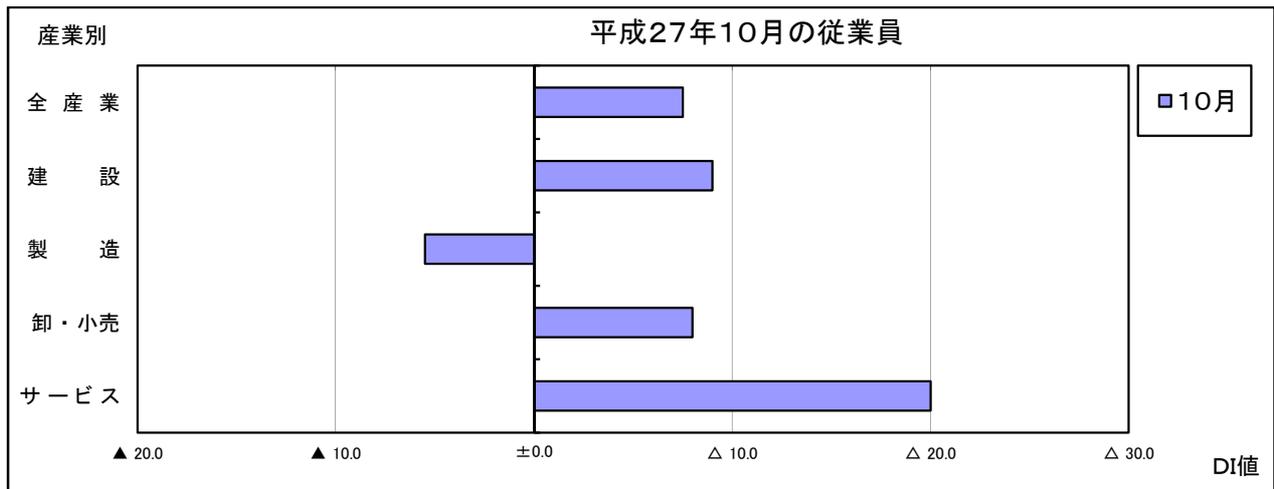
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業△20.0(同△6.6)、建設業△9.0(同△8.6)である。プラス幅が縮小した業種は、卸小売業△8.0(同△10.7)である。プラスからマイナスに転じた業種は、製造業▲5.5(同△5.5)である。

○ 向こう3ヶ月(11月から1月)の先行き見通しについては、全産業では、△11.2(前月水準△11.9)であり、プラス幅が0.7ポイント縮小する見通しである。

業種別では、プラス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業△26.6(同△13.3)、建設業△18.1(同△13.0)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業±0.0(同△11.1)、卸小売業△4.0(同△10.7)である。

平成27年10月の従業員DI値(前年同月比)の推移

| | 平成27年 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 先行き見通し 11月~1月(10月~12月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|
| 全産業 | △8.5 | △10.5 | △12.3 | △10.9 | △8.3 | △7.5 | △11.2(△11.9) |
| 建設 | △8.6 | △8.6 | △16.6 | △5.0 | △8.6 | △9.0 | △18.1(△13.0) |
| 製造 | △22.2 | △16.6 | △13.3 | △11.1 | △5.5 | ▲5.5 | ±0.0(△11.1) |
| 卸・小売 | ▲4.1 | △7.1 | △3.5 | △7.1 | △10.7 | △8.0 | △4.0(△10.7) |
| サービス | △11.7 | △12.5 | △21.4 | △25.0 | △6.6 | △20.0 | △26.6(△13.3) |



【平成27年10月の資金繰りについての状況】

○ 10月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲8.7(前月水準▲8.3)となり、マイナス幅が0.4ポイント拡大した。

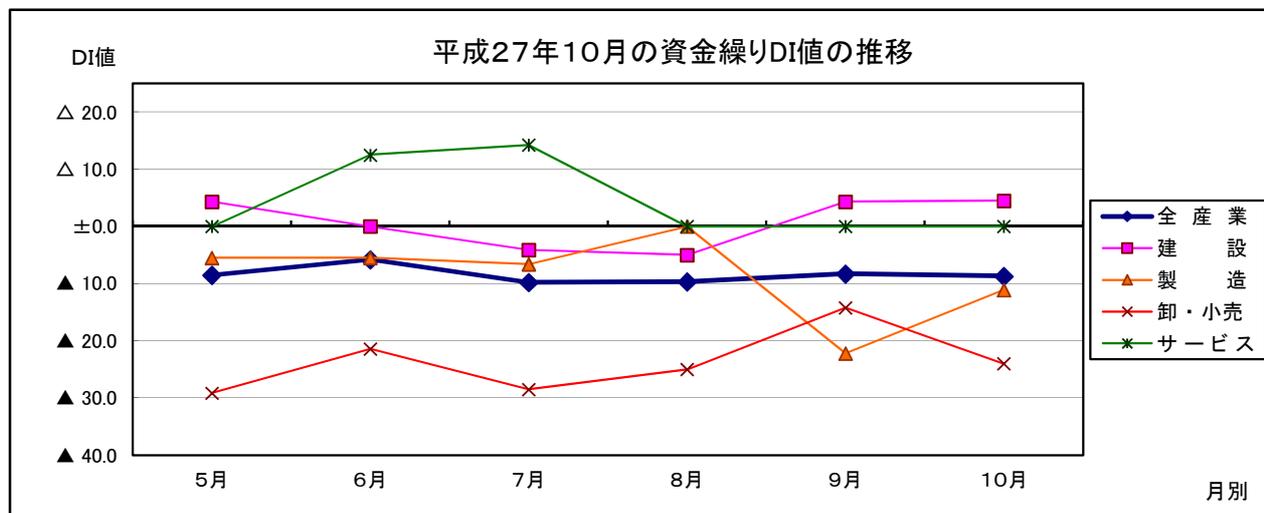
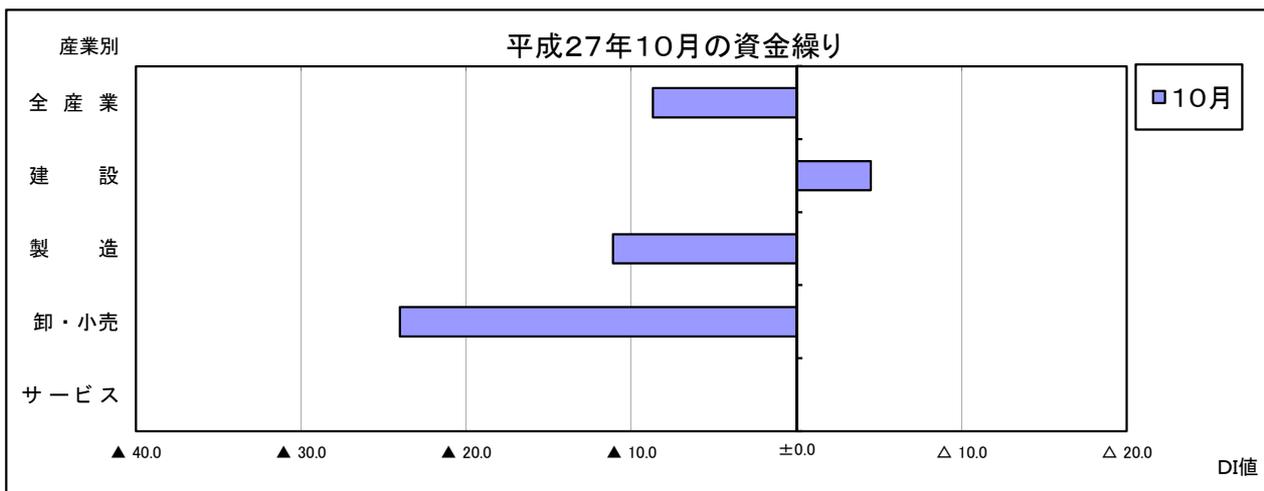
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、建設業△4.5(同△4.3)である。マイナス幅が縮小した業種は、製造業▲11.1(同▲22.2)である。変わらない業種は、サービス業±0.0(同±0.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、卸小売業▲24.0(同▲14.2)である。

○ 向こう3ヶ月(11月から1月)の先行き見通しについては、全産業では、▲2.5(前月水準▲7.1)となり、マイナス幅が4.6ポイント縮小する見通しである。

業種別では、プラス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業△6.6(同±0.0)、建設業△9.0(同△4.3)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲5.5(同▲11.1)、卸小売業▲16.0(同▲17.8)である。

平成27年10月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

| | 平成27年 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 先行き見通し 11月~1月(10月~12月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------------|
| 全産業 | ▲8.5 | ▲5.8 | ▲9.8 | ▲9.7 | ▲8.3 | ▲8.7 | ▲2.5(▲7.1) |
| 建設 | △4.3 | ±0.0 | ▲4.1 | ▲5.0 | △4.3 | △4.5 | △9.0(△4.3) |
| 製造 | ▲5.5 | ▲5.5 | ▲6.6 | ±0.0 | ▲22.2 | ▲11.1 | ▲5.5(▲11.1) |
| 卸・小売 | ▲29.1 | ▲21.4 | ▲28.5 | ▲25.0 | ▲14.2 | ▲24.0 | ▲16.0(▲17.8) |
| サービス | ±0.0 | △12.5 | △14.2 | ±0.0 | ±0.0 | ±0.0 | △6.6(±0.0) |



【DI値集計表】

| | 売上高(受注・出荷) | | 採算 | | 仕入単価 | | 従業員 | |
|------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き |
| 全業種 | ▲ 23.7 | ▲ 12.5 | ▲ 36.2 | ▲ 26.2 | ▲ 27.5 | ▲ 20.0 | △ 7.5 | △ 11.2 |
| 建設 | ▲ 18.1 | △ 4.5 | ▲ 31.8 | ▲ 9.0 | ▲ 22.7 | ▲ 18.1 | △ 9.0 | △ 18.1 |
| 製造 | ▲ 33.3 | ▲ 27.7 | ▲ 38.8 | ▲ 44.4 | ▲ 11.1 | ▲ 5.5 | ▲ 5.5 | ±0.0 |
| 卸・小売 | ▲ 28.0 | ▲ 20.0 | ▲ 48.0 | ▲ 48.0 | ▲ 48.0 | ▲ 32.0 | △ 8.0 | △ 4.0 |
| サービス | ▲ 13.3 | ▲ 6.6 | ▲ 20.0 | △ 6.6 | ▲ 20.0 | ▲ 20.0 | △ 20.0 | △ 26.6 |

| | 業況 | | 資金繰り | |
|------|--------|--------|--------|--------|
| | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き |
| 全業種 | ▲ 26.2 | ▲ 20.0 | ▲ 8.7 | ▲ 2.5 |
| 建設 | ▲ 13.6 | ▲ 9.0 | △ 4.5 | △ 9.0 |
| 製造 | ▲ 33.3 | ▲ 33.3 | ▲ 11.1 | ▲ 5.5 |
| 卸・小売 | ▲ 44.0 | ▲ 36.0 | ▲ 24.0 | ▲ 16.0 |
| サービス | ▲ 6.6 | △ 6.6 | ±0.0 | △ 6.6 |

【平成27年10月の業種別業界内トピックス】

| 業種別 | 概 況 | キーワード | 業種 |
|-----|--|----------------------------------|---------------|
| 建設 | 消費税による駆け込み注文が無くなる。消費税が10%になる前に再び受注が多くなる見込み。 | 消費税増税の影響 | 管工事業 |
| | 材料単価の上昇が続いている。仕事量はあるが、好況感はない。 | 仕入単価上昇 | 電気工事業 |
| | 一般家庭の畳工事(新畳仕上げ、畳表替え、畳裏返し)全てが増えています。畳縁一辺を交換する細かい工事もありますが、丁寧に対応していきたいです。 | 受注増加 | 内装工事業 |
| | 久しぶりに売上の増加となったものの、工期ずれにより計上出来なかった売上が10月に計上出来たことによる売上増加で、平均すると前年より売上は下がっている。他業種での工期が遅れた分、仕上業者である当社へのしわ寄せは大きく、現場が重なり、作業員の手配が難しい。現場の作業時間の節約、日曜日の作業禁止等により、ずれた工期、重なった日程をずらせず、忙しい毎日が続いている。 | 売上増 工期遅延の影響 人手不足 | その他の職別工事業 |
| 製造業 | 部品加工会社において助成金を利用した設備投資が増えている。仕事の繁忙は各社においてバラつきがあり、不安定さが伺える。 | 助成金 設備投資 | その他の機械・同部品製造業 |
| | 商品の値上げを実施したが影響が少しずつ出て来る見込み。 | 価格転嫁 | 食品・飲料品等製造業 |
| | 得意先が中国関連がメインで、建機の状況が非常に悪く、全体の売上に影響している。 | 海外(中国)の影響 売上悪化 | その他の金属製品製造業 |
| | 前年は2ヶ月連続で週末に台風の影響を受けた。本年は天候に恵まれ動員も好調に推移。婦人衣料は序盤には気温低下もあって秋物商材の動きは好調。後半に入り、コートも活発になる。宝飾・時計の高級雑貨は、時計が輸入時計を中心に好調に推移するものの、宝飾・美術品は前年を大きく下回る。食品は天候と件による動員増加が奏功、おせち受注も順調に推移。 | 台風の影響 動員好調 秋物衣料 おせち受注好調 | 百貨店 |
| | 秋のセール期間中は大幅な伸びを示したが、その前後は大幅に売上減少。きっかけがあれば購入するが、必要に迫られなければ買わない傾向が益々顕著である。 | セール期間好調 | 婦人・子供服小売業 |
| | 頭数は過剰。人財は不足。 | | 書籍・文房具小売業 |
| | 補修・修繕等、引き続き人件費が高騰している。長期修繕等の見直しが必要となっている。 | 人件費・修繕費増加 人手不足 | その他の各種商品小売業 |

【平成27年10月の業種別業界内トピックス】

| | | | |
|------|---|---|-------------|
| 卸小売 | <p>相変わらず人手不足である。もっと魅力的な会社になることが課題と考える。案の定TPPIはアメリカの思惑通りになる。大手輸出企業にとっては良いが、中小の農林水産業者にとっては死活問題である。今後、良い国産品の仕入は高くなる可能性が大になってきた。国の方針には反対。小売の競争は益々激化している。他店との違いをいかに出していくかがこれからの(永遠の)課題。</p> | <p>台風の影響 人手不足 TPP 競争激化 他店との差別化 仕入単価上昇(見込)</p> | 各種食料品小売業 |
| | <p>プレミアム商品券もひと段落して、例年と変わらなくなりました。</p> | <p>プレミアム商品券</p> | 菓子・パン小売業 |
| | <p>青果物の全般状況は、産地における低温や曇天、長雨、台風などの影響から、播種作業の遅れから生育が遅れ、今後は減少傾向と予測しています。しかし、最近では秋まつりや鍋物需要が旺盛との見方もあり、荷動きが良くなることも期待しています。なお一層の需要と供給のバランスの取れた安定販売に取り組んでいきます。</p> | <p>天候不順 生育の遅れ 需要活発化の見込み</p> | 食料・飲料卸売業 |
| | <p>引き続き原材料の値上げが多く、販売価格の改定が止むを得ない状況。</p> | <p>仕入単価上昇 価格転嫁</p> | 菓子・パン小売業 |
| | <p>下旬の気温低下で実用品のみが動き出す。ふとん、肌着などが好調となる。</p> | <p>気温低下 実用品好調</p> | その他の各種商品小売業 |
| | <p>年内の商品の値上がりは一服したが、諸般の事情で値上げを見送った業者が、来春(4月)から値上げ予定の案件が数件きている。田舎のせいか、プレミアムチケットの恩恵と勢いが無い。旅先の観光地やホテルで外国の旅行者を大変多く見かけるのに驚きます。写真を撮っているのは殆どが外国人。外出等の家族サービスや食料品等の動きは良いようですが、田舎周辺では消費者はかなり厳しい選択で必要な買い物をして姿を消します。客単価が上がらず売上減少。商品の先物仕入と賞与の時期を迎え資金繰りが心配です。</p> | <p>仕入単価上昇(見込) プレミアム商品券 外国人旅行者 食料品好調 客単価減少 売上減少 資金繰り不安</p> | その他の飲食料品小売業 |
| サービス | <p>従業員、パートの不足で生産高が上がらず、全てにマイナスが広がった。</p> | <p>人手不足 生産性低下</p> | 食堂・レストラン |
| | <p>10月は軽油価額が下がり、一息ついたところで、11月からは徐々に仕入価額が上昇していきそう。</p> | <p>軽油価格の下落 仕入価格上昇(見込)</p> | 一般貨物自動車運送業 |
| | <p>お客様からの問合せは不変ですが、契約件数、売上は増えています。良い物件は早期売却が来ていますが、少し物件に難があるような物は長期在庫になっています。</p> | <p>契約件数・売上増</p> | 不動産賃貸業 |
| | <p>休日の歩行者天国が駅前の活気に結びつかない時代に来ていると思います。</p> | <p>歩行者天国</p> | 不動産賃貸業 |
| | <p>一部の借入金の償還期間が終了したのと、保険等の諸経費の見直しを行ったため、資金繰りに多少の余裕が出ました。また、現在の未利用地の事業化計画が進捗中です。</p> | <p>資金繰りの改善 未利用地の事業化</p> | 不動産賃貸・管理業 |
| | <p>厳しさは変わらず。人手不足も深刻で、即戦力が足りない。スピード・生産性を考えられるスタッフが少ない。</p> | <p>厳しい業況 深刻な人手不足</p> | ソフトウェア業 |

◎人手不足

従業員、パートの不足で生産高が上がらず、全てにマイナスが広がった

食堂・レストラン

厳しさは変わらず。人手不足も深刻で、即戦力が足りない。スピード・生産性を考えられるスタッフが少ない

ソフトウェア業

◎仕入単価上昇

材料単価の上昇が続いている。仕事量はあるが、好況感はない

電気工事業

10月は軽油価額が下がり、一息ついたところで、11月からは徐々に仕入価額が上昇していきそう

一般貨物自動車運送業

◎価格転嫁

商品の値上げを実施したが影響が少しずつ出て来る見込み

食品・飲料品等製造業

引き続き原材料の値上げが多く、販売価格の改定が止むを得ない状況

菓子・パン小売業

平成27年10月CCI-LOBOとの比較

- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲26.2に対し、「CCI-LOBO」が▲17.5で柏の方がマイナス幅が8.7ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、サービス業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業、卸小売業であり、それぞれ10ポイント以上悪い。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲23.7に対し、「CCI-LOBO」が▲6.1で柏の方がマイナス幅が17.6ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業である。柏の景気の方が悪い業種は、製造業、卸小売業、サービス業であり、それぞれ10ポイント以上悪い。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲36.2に対し、「CCI-LOBO」が▲14.8で柏の方がマイナス幅が21.4ポイント大きい。全ての業種で、「柏の景気」の方が悪く、それぞれ10ポイント以上悪い。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」の方が▲27.5に対し、「CCI-LOBO」が▲36.4で柏の方がマイナス幅が8.9ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、製造業、サービス業であり、それぞれ10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業である。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が△7.5に対し、「CCI-LOBO」が△16.3で柏の方がプラス幅が8.8ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、サービス業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、製造業、卸小売業であり、それぞれ10ポイント以上悪い。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲8.7に対し、「CCI-LOBO」が▲11.3で柏の方がマイナス幅が3.4ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、サービス業であり、それぞれ10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業、卸小売業である。

平成27年10月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI-LOBOとの比較

| | | | | | |
|-------|---|---|---|---|---|
| 景気天気図 |  |  |  |  |  |
| | 特に好調 DI \geq 50 | 好調 50>DI \geq 25 | まあまあ 25>DI \geq 0 | 不振 0>DI \geq ▲25 | 極めて不振 ▲25>DI |

| 業況DI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|--|--|--|--|--|
| 柏の景気 |  ▲ 26.2 |  ▲ 13.6 |  ▲ 33.3 |  ▲ 44.0 |  ▲ 6.6 |
| CCI-LOBO |  ▲ 17.5 |  ▲ 17.1 |  ▲ 17.4 |  ▲ 23.1 |  ▲ 10.7 |

| 売上DI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|--|--|--|--|--|
| 柏の景気 |  ▲ 23.7 |  ▲ 18.1 |  ▲ 33.3 |  ▲ 28.0 |  ▲ 13.3 |
| CCI-LOBO |  ▲ 6.1 |  ▲ 10.9 |  ▲ 5.7 |  ▲ 7.0 |  ▲ 0.3 |

| 採算DI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|--|--|--|--|---|
| 柏の景気 |  ▲ 36.2 |  ▲ 31.8 |  ▲ 38.8 |  ▲ 48.0 |  ▲ 20.0 |
| CCI-LOBO |  ▲ 14.8 |  ▲ 15.7 |  ▲ 15.7 |  ▲ 19.5 |  ▲ 9.3 |

| 仕入単価DI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|--|--|--|--|--|
| 柏の景気 |  ▲ 27.5 |  ▲ 22.7 |  ▲ 11.1 |  ▲ 48.0 |  ▲ 20.0 |
| CCI-LOBO |  ▲ 36.4 |  ▲ 38.2 |  ▲ 29.0 |  ▲ 44.3 |  ▲ 35.9 |

| 従業員DI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|--|--|---|--|--|
| 柏の景気 |  △ 7.5 |  △ 9.0 |  ▲ 5.5 |  △ 8.0 |  △ 20.0 |
| CCI-LOBO |  △ 16.3 |  △ 20.9 |  △ 8.5 |  △ 19.5 |  △ 23.1 |

| 資金繰りDI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|--|---|--|--|--|
| 柏の景気 |  ▲ 8.7 |  △ 4.5 |  ▲ 11.1 |  ▲ 24.0 |  ±0.0 |
| CCI-LOBO |  ▲ 11.3 |  ▲ 6.6 |  ▲ 8.8 |  ▲ 18.8 |  ▲ 10.6 |

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上良い項目

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目

CCI - LOBO

商工会議所早期景気観測(10月速報)

調査期間：平成27年10月15日～21日

調査対象：全国の422商工会議所が2984企業にヒアリング調査を実施

全国の業況

業況DIは横ばいで推移。先行きも好材料之しく、一進一退の動きが続く

10月の全産業合計の業況DIは、▲17.5と、前月から▲0.2ポイントのほぼ横ばい。秋の行楽シーズンと中国の大型連休に伴い好調だった観光関連や住宅投資の持ち直しなどが下支えするほか、一部では、ガソリンや原材料などの価格下落の恩恵を指摘する声も伺える。他方、人手不足や人件費の上昇、価格転嫁の遅れなどが足かせとなり、業績改善のテンポがばらつく中、中国経済の減速や消費者のメイン下の鈍さを受けて、中小企業の景況感は足踏み状況にある。

先行きについては、先行き見通しDIが▲16.0（今月比+1.5ポイント）と改善するものの、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばいの見込み。観光需要や住宅投資の拡大のほか、設備投資、公共工事の持ち直し、冬の賞与増などへの期待感はあるものの、中国経済減速の影響や消費低迷の長期化を懸念する声も聞かれる。先行きの不透明感が増す中、人手不足や人件

費の上昇、価格転嫁の遅れなどの課題を抱える中小企業では、景気回復や自社の業績改善への確信が持てず、慎重な見方が続く。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「大型案件は乏しいが、リフォームを中心に住宅関連の受注が増加」（建築工事業）、「社屋や工場、店舗の新増築など、投資関連の引き合いが始めている」（一般工事業）、「燃料価格下落の恩恵はあるものの、人件費の負担増が続く。また、受注の見通しも分らないため、先行きが不安」（土木工事業）

【製造業】「行楽シーズンを迎え、生産水準を引き上げています。販売部門は、キャンペーンによる販促が奏功し、売上が好調」（食料品製造・販売業）、「取引先が海外から国内での調達にシフト。受注が伸びていることから、新規設備投資を行う予定」（陶磁器製造業）、「中国の景気減速の影響が心配だが、今のところ、国内向けを中心に前年度並みの受注を確保できています」（産業用機械部品製造業）

【卸売業】「9月の天候不順の影響から、葉物野菜をはじめ青果物の仕入価格が高止まりし、採算は厳しい」（農産物卸売業）、「年末商戦向けの受注増が予想されるため、パールの採用募集をしているが、予定の半数しか確保できていない」（食料品卸売業）、「受注が伸び悩んでいるため、新商品の投入や営業職などの人材育成を検討している」（工業用ゴム製品等卸売業）

業

【卸売業】「9月の天候不順の影響から、葉物野菜をはじめ青果物の仕入価格が高止まりし、採算は厳しい」（農産物卸売業）、「年末商戦向けの受注増が予想されるため、パールの採用募集をしているが、予定の半数しか確保できていない」（食料品卸売業）、「受注が伸び悩んでいるため、新商品の投入や営業職などの人材育成を検討している」（工業用ゴム製品等卸売業）

【小売業】「インバウンドの好調が続くほか、天候に恵まれ、地元客の来店も増加。婦人服などの秋冬物の衣料品や高額品の売れ行きが良かった」（百貨店）、「隣県に新規出店を計画しているが、従業員確保が課題。シニアや女性の活用を進める予定」（食料品・日用品スーパー）、「来街者は徐々に増えているものの、不要な支出を控える消費者が多いため、小売店は苦戦している」（商店街）

【サービス業】「売上は伸びているが、生鮮含め食料品の仕入価格が高止まり。販売価格への転嫁が進んでおらず、楽観できない」（飲食店）、「晴天が続いたことから、観光客が増加。県が発行した旅行券の効果もあり、年明け以降も売上増が期待できる」（旅館業）、「整備士が不足しているため、受注を抑制せざるを得ない」（自動車整備業）

【サービス業】「売上は伸びているが、生鮮含め食料品の仕入価格が高止まり。販売価格への転嫁が進んでおらず、楽観できない」（飲食店）、「晴天が続いたことから、観光客が増加。県が発行した旅行券の効果もあり、年明け以降も売上増が期待できる」（旅館業）、「整備士が不足しているため、受注を抑制せざるを得ない」（自動車整備業）

全国・産業別業況DIの推移

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

| | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸売 | 小売 | サービス |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 5月 | ▲13.5 | ▲13.4 | ▲15.1 | ▲17.3 | ▲13.6 | ▲10.0 |
| 6月 | ▲15.3 | ▲15.1 | ▲12.6 | ▲20.6 | ▲19.8 | ▲11.6 |
| 7月 | ▲20.0 | ▲23.1 | ▲17.9 | ▲23.7 | ▲24.4 | ▲13.9 |
| 8月 | ▲14.9 | ▲19.1 | ▲13.0 | ▲15.5 | ▲23.0 | ▲6.5 |
| 9月 | ▲17.3 | ▲17.3 | ▲16.1 | ▲24.0 | ▲24.8 | ▲8.7 |
| 10月 | ▲17.5 | ▲17.1 | ▲17.4 | ▲21.8 | ▲23.1 | ▲10.7 |
| 見通し | ▲16.0 | ▲12.0 | ▲17.1 | ▲16.5 | ▲22.9 | ▲10.6 |